

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 比喩や反復などの表現の工夫に気付き、活用することができる。
- 話や文章の種類とその特徴について理解し、文章の書き方の工夫を捉えることができる。
- 話の中心が明確になるよう、相手に伝わりやすい話の構成を考える問題に課題がある。

【算 数】

- 小数の仕組みを理解し、小数や整数について正確に計算することができる。
- 数量の関係に着目して、示された情報を基に条件に合う時間を求めることができる。
- 単位量あたりの大きさを求める式の意味を理解し、混み具合等を判断することに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 人が困っているときは進んで助けたり、地域や社会をよくするために活動したりしようとすることができる。
- 分からないことや苦手なことについて友達と対話したり質問したりして、学び方を工夫する力が身に付いている。
- 自分のよさやできていることなど、自分を肯定的にとらえる意識に課題がある。
- インターネットを使った情報収集や ICT 機器を使つての発表資料作成に苦手意識がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・ 定期的な漢字小テストの実施や新出漢字の部分分けでの学習
- ・ パワーアッププリント（算数）毎月1回実施
- ・ 子供が自主的に選ぶことができるような学習環境づくり

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 話す前に、話の中心を明確にし、内容の順序を整える活動を取り入れる。
- ・ 図や表で数量の関係を整理してから立式する活動を設定する。
- ・ 授業の中で式の意味を言葉で説明する場を設ける。

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・ 授業の中で他者と交流し、自分の考えを深める時間の設定
- ・ 様々な学習課題を解決するための方法やツールを準備し、子供が自分で選択する場の設定

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 思考力・判断力・表現力を発揮することができる授業づくり
- ・ 他者への関わりや働きかけを自分のよさにつなげることができるような教師の価値づけ